

3月 えんだより

令和6年3月1日(金) No.13 東高岡保育所

今年度も残りわずかとなりました。

この一年を振り返り、一人ひとり自分のペースで大きくたくましく成長した姿に嬉しさを感じているこの頃です。一年の締めくくりを迎え、卒園・進級を1か月に控えたこどもたち…年長さんを送り出す寂しさ、こどもたちが一つ階段を登る頼もしさ、新しい出会いが待っている嬉しさ、さまざまな感情が沸き上がってきます。成長した姿を共に喜び合い、自信を持って行動できるように新年度に向けて送り出したいと思います。

この一年間、こどもたちが元気いっぱい過ごせましたのも保護者の皆さまのあたたかいご理解とご協力があったることと深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

🌸 3月の行事予定 🌸

月	火	水	木	金	土	日
				1 ひなまつり会 発育測定	2	3
4	5	6	7	8	9 第14回卒園式	10
11	12 宮崎市 モニタリング	13	14 避難訓練 (げんきさん に避難)	15 遠足 (きりん、ぱんだ 野尻湖ピア)	16	17
18 土曜保育締切	19	20 春分の日	21	22 誕生会 🎂 ※重要事項 説明会	23 天ヶ城開門まつり (年長児和太鼓で参加)	24
25	26	27	28	29 修了式 (全クラス)	30 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">年長児以外は新年度の説明会を行います。全世帯の出席にご協力おねがいします。</div>	31

お知らせ

※3/9は卒園式となっております。この日は年長・年中児のみの参加となります。

また、前日8日(金)は会場設営の為、早めのお迎えにご協力いただくと大変助かります。

※お帳面預かりは、全クラス11日となります。よろしくお願い致します。

帳面のお返しは修了式の日になりますので、その間ご家庭からの連絡はメモ帳にてご連絡いただくと助かります。



えんちょうせんせいのつぶやき…第64弾

～第14回卒園生 そつえんおめでとう号～

今年の年長児の子どもたちが0歳児クラスで入ってきた年は平成29年…6年前、コロナウイルスさえも存在しない消毒まみれになる事もない保育の現場でした。

子どもたちの生まれた2017年、2018年を振り返ってみると2017年は桐生祥秀が100m9秒98(日本新!)、日馬富士の引退、「森友・加計」問題に揺れ動いていた2017年! 2018年は、西日本豪雨で死者が220人を超えた災害や、大谷翔平がメジャーで新人王になったことなどネットで振り返ってみると様々な出来事がつい最近の事のようにも感じられ、5、6年前を懐かしく振り返った所でした。

さて3月で卒園する年長児の子どもたちを紹介します。

石神陽太くん(6年9か月保育!)、中武紗来さん(6年4か月保育)、外山侑和くん(3年保育)、梅原結良さん(6年保育)、植田悠瑛くん(5年1か月保育)、松尾奏良さん(6年保育)、照屋璃々花さん(5年4か月保育)、竹中竣哉くん(5年5か月保育)、靱木葵翔くん(5年保育)、津曲彩央里さん(5年保育)、吉川円椛さん(5年8か月保育)、山口悟生くん(5年保育)計12名です。(生年月日順)

2017年0歳児の時の担任は、きほ先生、のぞみ先生他、2018年の時の担任が、けいこ先生、あおい先生他でした!

振り返れば月日はあっという間に過ぎ、この子どもたちが年長になるまでに新型コロナウイルスという世界中が震撼したウイルスがでてきたり、保育の現場もかなり困惑し、過敏になりあの時の感覚は今でも忘れられません。保護者関連の行事を縮小したり、参観日を中止にしたり大変な時期を乗り切ってきました。

365日、6年間これだけ毎日の生活を共にし、たくさんの行事と一緒に楽しんできた子どもたちへの思いはお父さんお母さん方に負けないくらい、愛おしさがつのっています。(; ;)

そんな愛おしい子ども達が卒園するのですから、成長を喜ぶとともに巣立っていく淋しさは計り知れず悲しみと喜びの感情が追いつきません(涙)

初めて子どもの卒園式を迎えられる保護者の方もいれば、ベテラン保護者さんもおられ、これから迎える義務教育の厳しさやこれまでにない悩みも子どもの成長と共に増えてきます。お父さん・お母さん方にとっても、親として成長していく機会が子どもを通してたくさん経験していくことになると思います。

子育てをしていると子どもを通して人としての出会いもたくさん増えるし、つながりも増えていくし親としての喜び、感動、時にはぶつかり合い色々な感情と向き合うことになります。

子どもを授かったときには、健康で元気に生まれてきてくれることだけを願いますが、子どもが元気に成長していくと、他の子どもと比べてしまったり、学校が始まると勉強が出来ることをのぞんだり、結果、親のエゴや理想像を子どもに押し付けてしまい、望むことがたくさん増えてきてしまいます。

勉強ができなくても世の中で活躍してきている人もたくさん見てきています。これから、小学校、中学校の義務教育の中で子どもたちには、厳しいこと苦しいことがあってもお父さんお母さんに相談できる環境であること、それが友達であってもいいと思います。以前、島田紳助さんが言っていたこんな言葉が心に刻まれました。「悩みはあったほうがいい、大きければ大きいほどいい。大きい悩みは人に相談して解決したり、もがきながら自分自身を成長させる。でも小さい悩みは、人に言わずに自分で解決しようとして、悩み続けた結果鬱になったり自分の命を立つ人も多い。」そんな言葉が心に残っています。子どもも大人もそうですが、これからの人生たくさんの事を経験しながら、苦しいことを乗り越えて人を思いやれる温かい人になってほしいと、切に願っております。

～この12名の子ども達、そして保護者の皆さまとの素晴らしい出会いに感謝です

長い年月のご協力、本当にありがとうございました。<m()m>～